

エコアクション 21 環境経営レポート



®環境省
エコアクション21
認証番号 0009484



2022 年度

活動期間 : 2022 年 2 月~2023 年 1 月



発行日 2023 年 4 月 18 日



株式会社 KAWARYO PGM

<http://www.kawaryo-pgm.jp>

— 目次 —

1. 事業活動の概要	-----1 ページ
2. 環境経営方針	-----5 ページ
3. 環境経営目標とその実績及び評価	-----6 ページ
4. 環境経営計画とその取組結果と評価及び次年度の取組み	-----8 ページ
5. 環境関連法規の遵守状況の確認と評価の結果並びに違反・訴訟の有無	----12 ページ
6. 主な環境活動	-----14 ページ
7. 代表者による全体評価と見直し結果	-----16 ページ



1. 事業活動の概要

1-1 会社名 株式会社 KAWARYO PGM

1-2 代表者 代表取締役 米山 雅巳

1-3 所在地 本社（事務所・工場） 静岡県浜松市西区湖東町 5850 番地 2F
 （ 駐車場 ） 静岡県浜松市西区湖東町 5847 番地 1
 静岡県浜松市西区湖東町 5920 番地 3
 静岡県浜松市西区湖東町 5849 番地
 静岡県浜松市西区湖東町 5926 番地 1

1-4 資本金 2,000 万円

1-5 設立年月日 平成 21 年 2 月 5 日

1-6 決算期 2 月 1 日 ~ 翌年 1 月 31 日

1-7 事業内容 非鉄金属リサイクル業
 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業



産業廃棄物収集運搬業								
行政名	許可番号	許可年月日	有効年月日	許可品目				
				廃プラスチック類	金属くず	ガラスコンクリートくず	廃酸	廃アルカリ
静岡県	02201148813	令和3年6月8日	令和10年6月7日	●	●	●	●	●
愛知県	02300148813	令和3年6月8日	令和10年6月7日	●	●	●	●	●
三重県	02400148813	令和4年3月5日	令和11年3月4日	●	●	●	●	●
岐阜県	02100148813	平成28年8月24日	令和5年8月23日	●	●	●	●	●

特別産業廃棄物収集運搬業				
行政名	許可番号	許可年月日	有効年月日	許可品目
				感染性産業廃棄物
静岡県	02251148813	令和3年6月8日	令和10年6月7日	●
愛知県	02350148813	令和3年6月8日	令和10年6月7日	●
三重県	02450148813	令和4年3月5日	令和11年3月4日	●
岐阜県	02150148813	平成28年8月24日	令和5年8月23日	●

1-8 処理施設の概要

産業廃棄物収集運搬車両				
	車両形式	最大積載量 又は車両重量	車両寸法 全長×幅×高さ (cm)	登録番号
1	小型貨物車 (バン)	1100 kg	469×169×197	浜松400な4641
2	〃	1000 kg	469×169×198	浜松400に1006
3	〃	1100 kg	469×169×197	浜松400な6201
4	〃	1100 kg	469×169×197	浜松400に6376
5	〃	1100 kg	469×169×197	浜松400に4816
6	〃	1100 kg	469×169×197	浜松400に4817
7	〃	1150 kg	469×169×197	浜松400な3281
8	軽自動車(バン)	150 kg	339×147×173	浜松480の4838
9	小型貨物車(保冷バン)	1100 kg	469×169×197	浜松400な6201

1-9 処理費用 収集運搬に係る費用は、排出場所・品目に応じて、ご提案・お見積もりをさせていただきますので、下記までご連絡下さい。

連絡先 (株)KAWARYO PGM 0120-51-0319

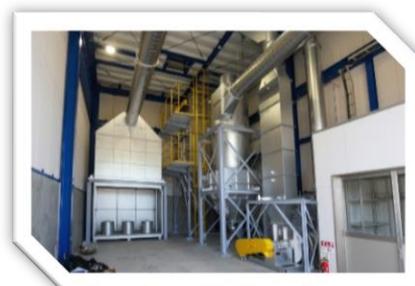
1-10 年間売上高 (単位：百万円)

	2022年度	2021年度	2020年度
売上高	2,549	1,883	1,778

1-11 産業廃棄物の受入量・運搬量

廃棄物の種類	2022年度		2021年度		2020年度	
	受入量	運搬量	受入量	運搬量	受入量	運搬量
廃プラスチック	15.988	15.988	15.841	15.841	14.247	14.247
ガラス陶磁器くず	71.544	71.544	75.660	75.660	71.860	71.860
廃酸	1.228	1.228	1.400	1.400	1.414	1.414
廃アルカリ	1.188	1.188	1.229	1.229	1.291	1.291
金属くず	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
感染性産業廃棄物	30.425	30.425	30.333	30.333	30.860	30.860
合計	120.373	120.373	124.463	124.463	119.672	119.672

1-12 従業員数 13人 (2023年1月決算)



1-13 事務所の延面積
 本社 事務所 96.76 m²
 工場 120 m²
 駐車場 400 m²

1-14 対象範囲 全組織・全活動・全従業員を対象とする。

1-15 環境管理責任者及びエコアクション 21 事務局

環境管理責任者 藤崎 直人 メールアドレス naoto@kawaryo-pgm.jp

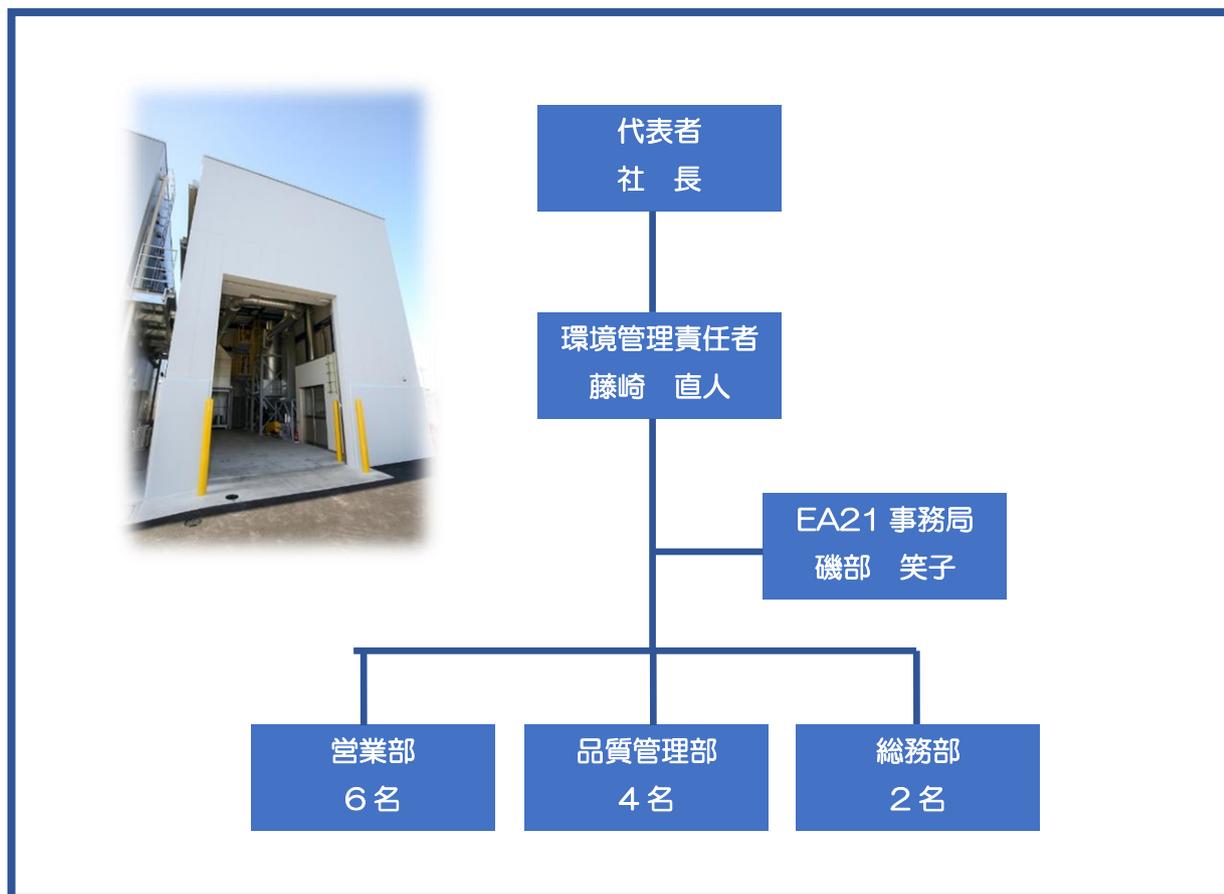
エコアクション 21 事務局 磯部 笑子 メールアドレス info@kawaryo-pgm.jp

TEL 053(486)2660 FAX 053(486)2665



佐鳴湖

1-16 エコアクション 21 組織図



代表者（社長）	環境管理責任者	E A21 事務局	各担当者	全従業員
環境経営に関する統括責任	環境経営システムの構築、実施、管理	環境管理責任者の補佐	自部門における環境経営方針の周知	環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
環境経営システムの実施に必要な人・設備・費用等を準備する	環境関連法規等の取りまとめ表を承認	環境負荷のチェック及び環境への取組の自己チェックの実施	時部門の従業員に対する教育訓練の実施	決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
環境管理責任者を任命	環境経営目標・環境経営計画書を承認	環境経営目標、環境経営計画書原案の作成	時部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告	
環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知	環境活動の取組結果を代表者へ報告	環境活動の実績集計	自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施	
環境経営目標・環境経営計画書を承認	観光経営レポートの確認	環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理	自部門の想定される事故及び緊急事態への対応の為に手順書作成、試行・訓練を実施、記録の作成	
代表者による全体の評価と見直しを実施		環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施	自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施	
環境経営レポートの承認		環境関連の外部コミュニケーションの窓口		
		環境経営レポートの作成・公開		

2. 環境経営方針

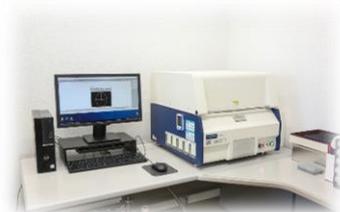
【企業理念】

株式会社 KAWARYO PGM は、非鉄金属リサイクルと産業廃棄物収集運搬業を通じ、限りある資源を大切にそして有効に利用して、環境と調和した社会づくりに貢献します。

「リサイクルで変わります」を合言葉に、次世代へ繋がる環境活動を実践していきます。

【基本指針】

- 1 経営における課題とチャンスをつまみ、省資源・省エネ化の段階的実現を推進します。
- 2 資源とエネルギーの有効活用並びに廃棄物の削減に対する環境目標を定め、目標達成のために次の活動を行い、継続的な改善を行います。
 - a. 電気・燃料の削減に努め二酸化炭素排出量を削減します。
 - b. グリーン購入を推進します。
 - c. 廃棄物の排出量の削減に努めます。
 - d. 水使用量の削減に努めます。
- 3 顧客に対して環境に配慮したサービスを提供します。
- 4 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
- 5 環境関連法規及び条例等を遵守します。
- 6 すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境経営方針を全従業員及び協力会社に周知し社外にも公開します。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

制定日 : 2012年10月1日

改定日 : 2020年5月1日

株式会社 **KAWARYO PGM**

代表取締役 米山 雅巳

3. 環境経営目標とその実績及び評価

2023年3月
新社屋へ移転
しました！

(1) 単年目標及び中長期目標

項目	単位	基準値	単年度及び中長期目標				
		2020年度	2021年度 [1%削減]	2022年度 [2%削減]	2023年度 [自動車燃費 3%up]	2024年度 [自動車燃費 3%up]	
二酸化炭素	合計二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	95,289	自動車燃料の二酸化炭素削減の目標が燃費になった為、二酸化炭素合計排出量には目標を掲げず数値を把握していく。			
	電力	kWh	13,227	13,094	12,262	データ収集	2023年実績から1%削減
	 7 再生可能エネルギーを拡大	Kg-CO ₂	5,978	5,919	5,858		
	プロパンガス	kg	8,327	8,243	8,160	データ収集	2023年実績から1%削減
	 12 持続可能な消費と生産	Kg-CO ₂	24,999	24,749	24,499		
 13 気候変動に具体的な対策を	ガソリン車燃料	燃費 ℓ/km	12.68	12.81 1%up	12.93 2%up	13.06 3%up	13.06 3%up
	軽油車燃料	燃費 ℓ/km	10.39	10.49 1%up	10.6 2%up	10.7 3%up	10.7 3%up
廃棄物	一般廃棄物	kg	381	377	373	データ収集	2023年実績から1%削減
	受託産業廃棄物	-	排出事業者と連携して、産業廃棄物の分別に努める				 11 持続可能な都市とコミュニティ
グリーン購入	 12 持続可能な消費と生産	100%	100%	100%	100%	100%	
水使用量	 6 安全な水とトイレを世界中に	-	賃貸オフィスの為、水使用量を把握できないので、目標値を設定せず、全従業員で節水を心掛け削減に努める。			データ収集	2023年実績から1%削減
環境配慮の促進	 11 持続可能な都市とコミュニティ	-	排出事業者と連携し、作業時間・待機時間の短縮を図る騒音を考慮する				
社会貢献	 3 持続可能な健康と福祉  14 海の豊かさを守ろう  15 陸の豊かさも守ろう  17 パートナーシップで目標を達成しよう	年2回、会社周辺の清掃を行う。 年1回、地域のボランティア活動を行う 年1回、古切手を収集し寄付する					

※二酸化炭素排出係数は環境省が公表している電気事業者別排出係数の2019年度実績の中部電力(株)の値である0.452 (kg-CO₂/kWh) を使用している。

(2) 活動期間（2022年度2月～1月）における環境経営目標とその実績及び評価

項目	単位	基準値 2020年度	2022年度 目標値	実績			評価	
				2020年度	2021年度	2022年度		
二酸化炭素	合計二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	95,289	自動車燃料の二酸化炭素削減の目標が燃費になった為、二酸化炭素合計排出量には目標は掲げず数値を把握していく。	95,288	85,150	96,362	—
	電力	kWh	13,227	12,262	13,227	13,071	14,447	×
		Kg-CO ₂	5,978	5,858	6,333	5,908	6,530	
	プロパンガス	kg	8,327	8,160	8,327	8,522	10,407	×
		Kg-CO ₂	24,999	24,499	24,999	25,583	31,243	
	ガソリン車	燃費 ℓ/km	12.68	12.93	12.68	15.76	15.67	○
	軽油車	燃費 ℓ/km	10.39	10.6	10.39	11.21	11.81	○
	一般廃棄物	kg	381	373	380.52	228.75	230.06	○
受託産業廃棄物	—	排出事業者と連携して、産業廃棄物の分別に努める						
グリーン購入		100%	グリーン購入比率 100%	100%	100%	100%	○	
水使用量	賃貸オフィスの為、水使用量を弊社のみで把握できないので、目標値を設定せず、全従業員で節水を心掛け削減に努める							
環境配慮の促進	排出事業者と連携し、作業時間・待機時間の短縮を図る マッピングアシストの利用促進							
社会貢献	年2回、会社周辺の清掃を行う					5月・11月	△	
	年1回、地域のボランティア活動を行う					10月	○	
	年1回、古切手を収集し寄付する					時季変更	×	

※二酸化炭素排出係数は環境省が公表している電気事業者別排出係数の2019年度実績の中部電力(株)の値である0.452(kg-CO₂/kWh)を使用している。



4. 環境経営計画とその取組結果と評価及び次年度の取組み

(1) 環境経営計画とその取組結果とその評価 (○印：達成、△印：ほぼ達成、×印：未達成)

方針	項目	目的達成手段	取組評価	達成状況/是正策	評価/指示
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素削減	不必要な照明の消灯	○	貴金属相場が高くなっていることで、金属取扱量が増加したため、工場の電力使用量が増えた。社員からの改善提案で計量機の電源 off や給茶機のディスプレイ off の意見が出たので導入した。来期は新事務所・新工場での活動となり、子メーターを付けて使用量が見える化できるため、原因追及ができるので節電の呼びかけがしやすくなる。	金属扱量が増加したため、工場稼働率が上がり電力使用量も増加した。これは仕方のないことだが、原因をきちんと追究する事は必要。目標は達成できなくても、改善提案を募集したり、朝礼などで節電の声掛けをし、全社員が節電に関心を持つような活動をしてほしい。
		室温管理をする(暖房 23 度・冷房 26 度)	△		
		OA 機器、電化製品の待機電力の削減	○		
		空調使用時は 15 分間の換気を 1 日 3 回行う	○		
		中期計画 ・空調機のフィルターの定期的な清掃			
二酸化炭素排出量削減	液化石油ガスの二酸化炭素削減	プロパンガスの使用量を把握する	○	今期のプロパンガス使用量の増加は、川良のガス使用量が多かったが、それ以上に当社の金属取扱量が多かった。それと仏壇回収の代理店が増えたことにより、焼却する灰仏壇も多くなり、炉の稼働時間が昨年と比較し長くなったのが一番の原因です。新工場に移転後は、バルクタンクになるので、より正確な使用量を把握できる。また原因を特定できるので、対策も練りやすくなる。	目標は達成できていないが、炉の稼働時間からガスの使用量を計算し、原因を追究できている。入荷するものの兼ね合いでガス使用量が増えるのは仕方のないことだが、廃仏壇をアゲインテックの炉を借りて焼却するのが効果があるかどうか等、与えられた道具を工夫して使用することにより改善できることがあると思われる。
		アイドリングストップの励行	○	全体としては目標達成できている。市内を回っている車両の燃費の悪さが目立つ。街乗りでアイドリング時間が長くなり影響を受けやすいので個別で注意を促したい。古い車両と新しい車両を比較すると燃費に格段の差がある。5 年周期で車両を入れ替えるため極端に古い車両はなくなる。エコドライブコンテストで社員のモチベーションも上がっている。今後もしっかりとエコドライブを呼び掛けていきたい。	目標燃費を下回っている車両については必ず原因ははずなので、燃費の伸びている車両の運転手に走行方法を聞くなどして、エコドライブを取り入れてほしい。全車両リースでメンテナンスもまめに行っているので極端に燃費が落ちる車両が減ったように感じる。車両を新車に入れ替えた後に燃費が良くなることがわかってきたので、車両の使用状況に応じた燃費基準に変えたほうがいいかもしれない。
		燃費の下がった月は車両ごとに原因追及する	○		
エコドライブの教育及び実行	○				
二酸化炭素排出量削減	自動車燃料の二酸化炭素削減	中期計画 ・社用車の低公害車への切り換え			
		分別の徹底	○	【廃棄物】仏壇を回収する代理店が 1 件増え、宅配の荷物が増えると予想される。過剰な包装があれば簡易包装の依頼をしていく。 【紙】ミスプリントの機密情報の受けからスタンプを押し、裏紙として再利用できるようにするアイデアで、紙の再利用率が伸びた。毎月のデータ取りが遅れた月があった	【廃棄物】代理店に向けて、しっかりと簡易包装の案内ができている。今後も事務所から出る廃棄物の分別を声掛けてほしい。 【紙】営業でキャンペーンを行う準備でコピー用紙の使用が増える。ミスプリントを減らす声掛けをしてほしい。毎月の数値のデータ取りは忘れずに同じタイ
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	宅配の発送元への簡易包装の徹底	○		

		両面排紙の有効的な活用方法を考える	○	たので注意したい。	ミングで行うこと。数値の把握が遅れた次の月は量が少なくなるはずなので考慮すること。
		中期計画 ・打ち合わせや会議の資料等のペーパーレス化（ホワイトボード・プロジェクターの使用推進）	○		
	受託産業廃棄物のリサイクル量の向上	排出事業者へ廃棄物の分別を呼びかける	○	排出事業者に対して定期的に分別の声掛けができた。また、廃棄物の回収時に中身を確認し、石膏の中に異物が入っていないか確認し、入っていた場合は声掛けを行っている。他の営業社員にも朝礼や営業会議で廃棄物の確認の声掛けを行う。	8月から三重のルート担当が変更になるので、再度灰事業者に分別の徹底を呼び掛けたい。また感染物の段ボールが破れていないかもチェックする。8月に産廃収集運搬料の値上げを行うため、顧客によっては分別方法が変わる場合があるので注意する。
受託した産業廃棄物の搬入管理を行う		○			
	中期計画 ・排出事業者の排出状況や運搬先の処理施設の状況を把握し適切な収集運搬計画を立てる	○			
水使用量削減	水道水の削減	手洗い時の節水励行	○	水使用量のデータがないため対策を講じることができない。とにかく節水と呼び掛けるしかない。新社屋に移り水使用量が把握できるようになった時に困らないように、洗濯物が少ないときは翌日に回すなどの基本的な対策を社内で開催し移転後に正しいデータで活動できるように準備してほしい。	新社屋に移るまでは使用量がわからないのは仕方ないこと。朝礼やメールで節水と呼びかける。また、新社屋に移った時のためにどんな活動を行うかシミュレーションを行ってほしい。来期は水使用量だけの担当者を受け、節水の対策を行っていく。
		節水のアイデアを募集する	○		
		中期計画 ・朝礼などで定期的に節水を呼び掛ける	○		
環境配慮資材の購入	グリーン購入の推進	資材のグリーン購入化（品目の選定）	○	決められた商品を購入しており、特に問題はなかった。新社屋で使用するオフィス家具をココロ製品で検討しており、購入予定のほとんどがグリーン購入適合商品で対応できそう。文具は新たにグリーン購入リストに追加するものは無かった。	しっかりと決まったものを購入できている。また、新しいものを購入する時も、しっかりと品目の選定をしていきたい。新社屋で使用する用品もグリーン購入品を選定することができている。今後も無理のない範囲でグリーン購入を進めていきたい。
		事務用品のグリーン購入比率向上	○		
		中期計画 ・産廃資材や工場資材のグリーン購入品の選定	○		
環境配慮の促進	産業廃棄物の収集運搬における環境配慮	作業時間や待機時間の短縮化	○	ルートの変更や同行などがあり、顧客先への訪問の方法に慣れていないように思われる。マッピングアシストを全く利用しない人がいるので、営業会議の際に声掛けを行う。高速道路情報などはしっかりと共有できている。雪で交通が乱れた時も、影響を最小限にとどめることができた。	伊勢湾岸道などで集中工事をしているのでしっかりと情報共有していきたい。マッピングアシストは便利な機能で業務効率も上がるので、全員が使用するように対策を講じてほしい。高速道路情報はしっかりと情報共有できている。
		マッピングアシストの有効な活用方法を社内展開する	△		
		中期計画 ・収集運搬時、住宅街等では騒音を考慮し回収時間やルートを見直す	△		
社会貢献	社会貢献	古切手を収集し寄付する（年1回）	×	古切手の寄付する時期を見定めたいが、集まりにくい状況。社員に周知する。10月の浜名湖クリーン作戦は成功。今後はSDGs担当の増田君と協力し参加率を高める方法を考え、今後の活動計画を立ててほしい。会社周辺の清掃は、来期移転する新社屋が幹線道路沿いなので、定期的に行えるように事前準備を行いたい。	地域のボランティア活動と会社周辺の清掃はしっかりと計画ができていたがコロナ禍で実施できなかった回もあった。今後もSDGs担当者として協力して、参加率を高めるため、楽しんでボランティア活動ができるような内容で実施計画を立ててほしい。
		地域のボランティア活動へ参加（年1回）	○		
		会社周辺の定期的な清掃（年2回）	△		
		中期計画 ・古切手を収集し年1回送付する	○		

年間計画	環境方針・目標・活動計画の周知	○	<p>2022年度の二酸化炭素排出量は昨年と比べて11,212 kg-CO₂増加しました。内訳は、電力が+622kg-CO₂、プロパンガスが+5660.5 kg-CO₂、自動車燃料が+4930.16 kg-CO₂の増加です。原因は、金属取扱量が前年と比較し235.045 kg増加(27.9%up)したことです。また、灰仏壇の入荷も多く溶解炉の稼働時間が前年と比較し増加しました。プロパンガス使用量が1885.6 kg増えていること(22.1% up)稼働時間が長かったことがわかります。炉を共有で使用する川良商店のプロパンガス使用量(利用時間からプロパンガスの量を計算しています)は昨年と比べて減っていることから、やはり、取扱量の増加が一番の原因です。これは貴金属相場が高値で推移していたことにより顧客から金属を集めやすかった事、灰仏壇を回収する代理店が1件増えて、回収量が昨年と比較し増加したことが要因です。売上に比例して二酸化炭素排出量も増加してしまいました。</p>
	環境目標。環境活動進捗状況確認・評価	○	<p>活動内容の面から見ると、エコドライブコンテストを毎年行っているので社員の燃費向上に対する意識が高まり、平均燃費が軽油車11.81 l /km(11.41%up)、ガソリン車15.67 l /km(21.19%up)という結果になりました。5年で車両を入れ替えており、メンテナンスも2か月に1度行っているのも良い結果に繋がったと思われます。今期は会社としてSDGsの目標達成に向けて活動を始めました。10月に浜名湖クリーン作戦を会社として企画し実行しました。社員8名で舞阪の海岸のクリーン作戦を行い64 kgのゴミを回収しました。受託産業廃棄物のリサイクル量の向上においては、今期産廃収集運搬料を値上げしたこともあり、分別をしてくれる排出事業者が増えています。また、営業マンも分別の声掛けや指導を積極的に行っているため、顧客数も増えているので数値的には増えましたが受託産廃の量は抑えられていると思われます。コロナ禍が続いていたこともあり、会社周辺の清掃を行うことができませんでした。しかし、年末の大掃除の時に敷地内側溝の清掃は行うことができました。来期は新社屋での環境活動になるので、今までよりも数値が高くなると思われます。社員一丸となり、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでほしいと思います。</p>
	適正処理を行うための研修会参加	○	
	緊急事態対応訓練	○	
	環境活動レポートの作成と地域事務局への送付	○	



KAWARYO PGM 新社屋完成の記念撮影

(2) 次年度の取組内容

方針	項目	目的達成手段	責任者	
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素削減	不必要な照明の消灯	松下	
		室温管理をする（暖房 23 度・冷房 26 度）		
		OA 機器、電化製品の待機電力の削減		
		電力使用量および太陽光発電量の正しいデータ取り		
	中期計画	・空調機のフィルターの定期的な清掃		
	液化石油ガスの二酸化炭素削減	プロパンガスの使用量を把握する	堀内	
自動車燃料の二酸化炭素削減	自動車燃料の二酸化炭素削減	アイドリングストップの励行	藤崎	
		燃費の下がった月は車両ごとに原因追及をする		
		エコドライブの教育及び実行		
		中期計画		・社用車の低公害車への切り換え
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	分別の徹底・宅配の荷物の発送元への簡易包装の徹底	田上	
		両面排紙の有効活用	増田	
		中期計画	・打ち合わせや会議の資料等のペーパーレス化（ホワイトボード・プロジェクターの使用推進）	
	受託産業廃棄物のリサイクル量の向上	受託産業廃棄物の搬入管理を行う	排出事業者に廃棄物の分別を呼びかける	堀野
			受託した産業廃棄物の搬入管理を行う	鈴木
			中期計画	・排出事業者の排出状況や運搬先の処理施設の状況を把握し適切な収集運搬計画を立てる
水使用量削減	水道水の削減	節水のアイデアを募集する	佐野	
		水道使用量の数値の正しいデータ取り		
		中期計画		・雨水の利用促進
環境配慮資材	グリーン購入の推進	資材のグリーン購入化（品物の選定）	田上	
		事務用品のグリーン購入比率向上		
		中期計画		・産廃資材や工場資材のグリーン購入品の選定
環境配慮の促進	産業廃棄物の収集運搬における環境配慮	作業時間や待機時間の短縮化	堀野	
		マッピングアシストの活用促進		
		中期計画		・収集運搬時、住宅街等では騒音を考慮し回収時間やルートを見直す
社会貢献	社会貢献	年 1 回、古切手を収集し寄付する	栗野	
		年 1 回、地域のボランティア活動へ参加する		
		年 2 回、会社周辺の定期的な清掃をする		
		中期計画		・古切手を年 1 回送付する
年間計画	環境方針・目標・活動計画の周知		環境事務局	
	環境目標・環境活動進捗状況確認・評価		環境管理責任者	
	適正処理を行うための研修会参加		環境事務局	
	緊急事態対応訓練		環境事務局	
	環境活動レポートの作成と地域事務局への送付		環境事務局	

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認と評価の結果並びに違反訴訟の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

区分	法規制等の名称	該当する要求事項	条項	概要	遵守評価
(株)KAWARYO PGM として遵守する法律 環境法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業者の責務	第3条	事業者の一般廃棄物の自ら処理	遵守
		所有・占有・管理土地の清潔の保持	第5条	不適正処理廃棄物発見の速やかな通報等	遵守
		一般廃棄物の委託処理	第6条の2 第6項	契約の締結	遵守
		産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付け	第12条	産業廃棄物収集運搬車であることを車体に表示する。許可証の写し、マニフェストの備え付け。	遵守
		産業廃棄物収集運搬業の帳簿整備	第12条の2	帳簿の整備・保存	遵守
		産業廃棄物収集運搬業の管理票処理	第12条の3 第3項	・B1票の90日以内の送付 ・収集運搬業者の管理票交付者へのマニフェストの写しを送付、この場合において当該産業廃棄物処分委託へのマニフェスト管理票の回付	遵守
			第12条の3 第6項	管理票交付者のマニフェストの保管	遵守
			第12条の3 第7項	・産業廃棄物管理票交付状況等の報告 ・保管（5年間）	遵守
		虚偽の管理票発行の禁止	第12条の4	虚偽の受託、虚偽の運搬の禁止	遵守
		産業廃棄物の収集運搬業の許可	第14条	許可基準、許可期限、名義貸し禁止、許可取り消し基準	遵守
		産業廃棄物の収集運搬業許可の変更等	第14条の2		遵守
		特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可	第14条の4		遵守
		特別管理産業廃棄物処理業者の責務	第14条の4 第12項	特別管理産廃廃棄物処理基準の遵守	遵守
		特別管理産業廃棄物の収集運搬業許可の変更	第14条の5		遵守
		不法投棄の禁止	第16条		遵守
	産業廃棄物収集運搬に必要な報告	第18条	産業廃棄物収集運搬実績報告書の提出	遵守	
	感染性産業廃棄物処理ガイドライン	—	ガイドラインの規定を満たす収集運搬	遵守	
	道路交通法	免許証携帯と有効期限	第64条	無免許運転の禁止	遵守
		安全運転管理者の設置と交通安全教育の実施	第74条	対象：車両5台以上	遵守
		交通事故時の措置	第72条	死傷者又は損壊時の救護及び通報	遵守
		酒気帯び運転の禁止	第65条	酒気帯び運転の禁止・酒気帯び運転者に運転させることの禁止	遵守
		過労運転の禁止	第66条	過労運転させることの禁止	遵守
		速度遵守	第22条	制限速度の遵守	遵守
		積載制限遵守	第57条	・産業廃棄物収集運搬車 ・過積載車両の運転指示の禁止・過積載の禁止	遵守
	道路運送車両法	点検及び整備の義務	第47条		遵守
		定期点検整備	第48条		遵守
		点検整備記録簿	第49条		遵守
		自動車検査証の携行	第56.58条	・自動車者検査証の交付を受けて運行 ・有効な車検証を携行	遵守
消防法	発火の恐れのある設備の届出	第9条の3	・溶解炉 ・溶解炉（3基）の設置の届出	遵守	
	LPGガスの貯蔵及び取り扱い		・LPGガス置場 ・LPGガス最大貯蔵数量400kgの届出	遵守	

	労働安全衛生法	機械等から生ずる労働災害の防止	第 88 条	・分析機 ・X線分析機設置の届出	遵守
	悪臭防止法	規制基準の遵守義務	第 7 条	浜松市 465 号（浜松市内の場合。他自治体の場合は、その告示による。）	遵守
静岡県	静岡県生活環境の保全等に関する条例	騒音に係る特定施設の届出	第 53 条	・集塵機 ・集塵機設置の届出	遵守
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	静岡県知事への産業廃棄物処理状況の報告等	第 22 条		遵守
浜松市	浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託に係る運搬又は処分が行われる施設の状況等を实地に確認	第 10 条		遵守
	浜松市音・かおり・光環境創造条例	悪臭の少ない生活環境の保持	第 9 条		遵守
他都道府県	産業廃棄物の適正な処理の推進に関する条例	三重県知事への産業廃棄物処理状況の報告等	第 18 条		遵守
	産業廃棄物処理業者の実績報告に係る要綱	東京都知事への産業廃棄物処理状況の報告等	第 3 条		遵守
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	愛知県知事への産業廃棄物処理状況の報告等	第 13 条		遵守
	神奈川県生活環境の保全等に関する条例〈ディーゼル車規制〉	排出基準を満たさないディーゼル車の走行禁止	・対象：神奈川県に乗り入れる産業廃棄物収集運搬車 ・対象車種：ディーゼル車のトラック、ディーゼル車のバス、ディーゼル車の特殊自動車（乗用車ベースのものを除く）	遵守	
	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例〈略称 環境確保条例〉		・対象：東京都に乗り入れる産業廃棄物収集運搬車 ・対象車種：ディーゼル車のトラック、ディーゼル車のバス、ディーゼル車の特殊自動車（乗用車ベースのものを除く）	遵守	
	埼玉県生活環境保全条例などのディーゼル車に対する規制		・対象：埼玉県に乗り入れる産業廃棄物収集運搬車 ・対象車種：ディーゼル車のトラック、ディーゼル車のバス、ディーゼル車の特殊自動車（乗用車ベースのものを除く）	遵守	
	千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例		・対象：千葉県に乗り入れる産業廃棄物収集運搬車 ・対象車種：ディーゼル車のトラック、ディーゼル車のバス、ディーゼル車の特殊自動車（乗用車ベースのものを除く）	遵守	
産業廃棄物収集運搬の許可を得ている愛知県・神奈川県・東京都・三重県・岐阜県・茨城県・千葉県・埼玉県が制定している産業廃棄物関係の条例				遵守	
事業者全般として遵守する法律	環境基本法	事業者の責務	第 8 条	公害防止、自然環境適正保全の為の措置の実施等	遵守
	地球温暖化対策の推進に関する法律	事業者の責務	第 5 条	事業者は、その事業活動に関し、温室効果ガス排出抑制等のための措置の実施、国・地方公共団体が実施する温室効果ガス排出抑制等のための施策への協力	遵守
	自動車リサイクル法（使用済自動車の再資源化等に関する法律）	使用済自動車の引き取り業者への引渡し	第 5 条		遵守
		自動車再資源化料金の再資源化等預貯金としての資金管理法への預託	第 73 条		遵守
	グリーン購入法（等による環境物品等の調達に関する法律）	事業者及び国民の責務（境物品の購入）	第 5 条		遵守
	小型家電リサイクル法（使用済小型電子機器の再資源化の促進に関する法律）	事業者の責務	第 7 所	事業者は、その事業活動に伴って生じた使用済小型電子機器等を排出する場合は、収集運搬又は再資源化を適正に実施できる者へ引き渡すように努める	遵守
	フロン排出抑制法（フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律）	事業者の責務	第 5 条	特定製品の管理者（事業者）はフロン類の管理の適正化に努めるとともに国等の施策に協力する	遵守
第 1 種特定製品の管理者が講ずべき措置		第 16 条～ 第 26 条	第一種特定製品の設置環境・使用環境の維持保全、簡易点検・定期点検、漏洩や故障の場合の修理を行うまでのフロン類の充填の原則禁止、点検・整備の記録作成・保存等を行う。	遵守	

遵守評価日：2023年3月24日

(2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

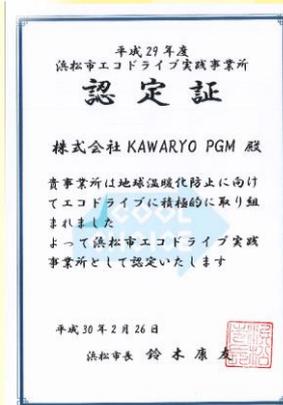
また、過去3年間にわたって違反や関連機関からの指摘や利害関係者からの訴訟もありませんでした。

6. 主な環境活動

平成 25・26・27 年度 浜松市新エネ・省エネ対策トップランナー「AA」
 平成 29 年度 浜松市エコドライブ実践事業所
 平成 30 年度 浜松市エコドライブ優良事業所
 平成 31 年・令和元年度 浜松市エコドライブ優良事業所
 令和 2 年度 浜松市エコドライブ優良事業所
 令和 3 年度 浜松市エコドライブ模範事業所



エコドライブ模範事業所とは・・・優良事業所として 3 回認定された後も継続して 1 年間
 エコドライブに取り組んだ事業所

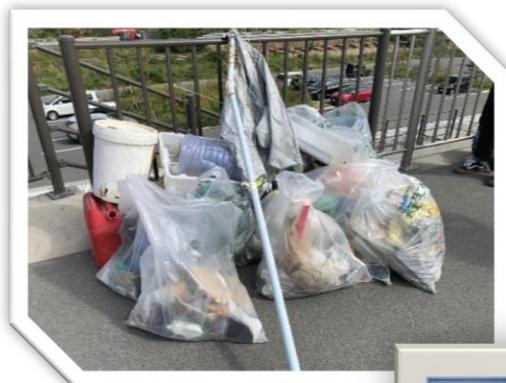


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2021年2月から古切手の収集を始めました



2022.10.15 KAWARYO PGM クリーン作戦



舞阪の海岸にて社員 8 名参加で
浜名湖クリーン作戦実施



7. 代表者による全体評価と見直し結果

2022年度は二酸化炭素排出量が昨年と比較し11,212 kg-CO₂増加しました。電力が622 kg-CO₂増加、プロパンガスが5660.5 kg-CO₂増加、自動車燃料が4930.16 kg-CO₂増加となっています。

これは、2022年2月以降のパラジウムの相場の高騰により顧客からの引き合いが増え、金属預かり量が急増し処理にかかる燃料が増えたことに起因します。よって当社の売上高も過去最高を記録しました。

また、今期は仏壇回収の代理店が1件増えました。回収する廃仏壇が増え、焼却時間が長くなっていることも二酸化炭素排出量増加の原因の1つです。当社の炉は、大きな仏壇は数回に分けなければ焼却できませんが、関係会社の焼却炉を借りれば1度で焼却できることがわかっています。メリットデメリットを考えて最適な方法を取ってほしいと思います。

環境活動の面から見ると、2022年は会社としてSDGsの目標達成に向けて活動を始めました。10月に舞阪の海岸のクリーン作戦を行い64kgのゴミを回収しました。海岸清掃でマイクロプラスチック問題を目の当たりにし、1時間ほどで64キロものゴミが集まったことを受けて環境問題について考える良い機会になったと思います。今後は海岸だけでなく、地域貢献活動として、私たちの会社周辺の清掃活動を行います。

また、エコドライブコンテストを毎年継続して行っていることで、社員の燃費改善への意識が年々高まっています。社員同士の会話の中でも、燃費が話題に上がることが多くなり、燃費を競争するゲーム感覚で楽しんで活動できているのではないのでしょうか。

さて、2023年3月には新社屋に移転します。電力や水道などの数値は大幅に増えることになるでしょう。よって、来期は基準年や目標値を変更する必要があります。今までは水使用量はデータがありませんでしたが、移転後は正しいデータを取ることができます。また、電力とガスにおいては、子メーターを設置しメーターごとに使用量の推移を把握できるシステムを導入しました。原因追及がしやすくなり、対策も立てやすくなると思います。建物自体も、建物で消費する年間の1次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物であるネット・ゼロ・エネルギー・ビル【ZEB】認証を取得しており、屋根・外壁・窓・照明器具・空調器具が省エネ仕様になっています。一次エネルギー消費量からの削減率が84%の建物と認定されました。建物だけでなく社員一丸となり「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」に向けて活動をしていきたいと思っています。

環境経営方針	■変更なし □変更あり
環境経営目標	□変更なし ■変更あり
環境経営計画	□変更なし ■変更あり
環境に関する組織・実施体制	■変更なし □変更あり
環境経営システム	■変更なし □変更あり

評価・見直し日 2023年3月30日
株式会社 KAWARYO PGM
代表取締役 米山 雅巳